



国際ロータリー第2730地区

2008.7~2009.6

佐土原ロータリークラブ週報

2008~2009年度RIテーマ



会長：太田 忍 幹事：吉田康一郎
 副会長：柳田 光寛 会報委員長：中武 幹雄
 会計：宮内 文功
 事務局：吉野由里子
 宮崎市佐土原町下田島 11703-18
 TEL：0985-62-7833 FAX：0985-62-7877
 例会日：毎週水曜日
 例会場：ハイビスカス ゴルフクラブ
 TEL：0985-73-0109

11月12日(水)・・・ゲスト卓話「弁護士・江島寛氏」
 11月19日(水)・・・会員卓話「福井輝文君」
 11月26日(水)・・・フォーラム・・・「ロータリー財団」について

本日のプログラム

- | | |
|------------------------|---------------|
| 1. 点鐘 | 7. 幹事報告 |
| 2. 国歌斉唱 | 8. 11月のセレモニー |
| 3. ロータリーソング
「我らの生業」 | 9. 出席報告 |
| 4. 四つのテスト「濱田松太郎君」 | 10. 委員会報告 |
| 5. 会長の時間 | 11. ガバナー補佐の時間 |
| 6. ハッピーBOX披露 | 12. 点鐘 |

佐土原ロータリー月間テーマ

【ロータリー財団月間】

第1046回 平成20年11月5日(水)

第1045回の記録 平成20年10月29日

会長の時間

太田 忍 会長

本日は1045回の例会です。

今、世界中いや日本も株価が下がり経済不況が心配されています。しかし、どんなに不況になっていく中でも生き残る方法はあると思います。今日は松下幸之助さんの遺した言葉を紹介したいと思います。

『伸びる方法は必ずある』

(僕はすべて経営者の思う通りになると思うんです。うまくいかない会社は、不景気やからあかんかと、売り上げも25%は落ちるだろうと、いうことをその経営者が承認しているわけですか。僕は今までそれを承認しなかった。そんなバカなことない、どんなときにも伸びる方法はあるんですよ、その方法を探さんだけやと、努力しないだけやと。努力すればできるんですよ。そうなるというても僕は承知しないと。必ずやれると。それで50年間やってきた。それが今日の松下電器になったわけですね。)

昭和49年は、太平洋戦争後延び続けていた日本の実質経済成長率が、初めてマイナスに転じた年でした。前年の石油ショック以来のインフレ下の不況に、松下グループの販売会社も深刻な状況に陥っていました。

そうした中、翌50年1月、販売会社社長懇談会が国立京都国際会館で行なわれました。松下幸之助はその会議で、『決意しなかったら事はならない。できないと言っているのは永遠にできない』と各社長に意識改革を迫りました。

『25%から35%売り上げが落ちそうです』という社長には、『そのあなたの考え方を変えてもらいたい。社員の人35%下がりますわと言う。そうやろうなあとあんたが得心したら、そうなるんです。そんなバカなことはないと反発し、35%よけい売るんだ、そのためにはこうしたらいい、ああしたらいいと考えて、それを社員に訴え動かせば、その通りになるんです』と訴えています。

社長ができないと考えれば、それが部長に移り、社員に移り、またそれが小売屋さんにも移って、結局できなくなってしまう。不景気のときでも10件のうち2件は伸びているものだが、その2軒の経営者は『不景気だからダメだ』という大勢に甘んじず、やる方法は必ずあると考える人だと言うのです。その話は、みずからの体験を踏まえているだけに、力強く、説得力のあるものでした。

松下はみずからの経営体験の中から、理にかなったことは、衆知を集めて努力をすれば必ず成る、できないことはないのだという信念を持っていました。実際、そのような信念でさまざまな苦難を乗り越えてきたのです。ですから、部下に大事な仕事を頼むとき、『私にはどうしていきません。』とひるむ社員には、『いや、君ならできる。必ずできるよ』と励まし、やる気にさせて任せてきたものでした。

松下の考え方によれば、人生もまた経営です。『自分の人生は必ずよくなる』という信念に立たなければ、よくなるものもなくなってしまうのではないのでしょうか。



幹事報告

吉田 康一郎 君

ガバナー事務所～地区大会関係文書・・・「地区大会信任状証明書」大会当日に提出。

委員会報告

○プログラム委員会

佐藤 高元 君



ハッピーBOX披露

※岩切 正司君～太田年度も3分の1が終わりまして。会員を増やしましょう。 「米山へ」

※藤堂 孝一君～10月26日。地区コンペでイーグルが出ました。スコアは95で良くありませんでした。 「財団へ」

※垂水 敏雄君～先週欠席しましたので。 「財団・米山へ」



※「11月プログラム予定表」を本日配布いたしますのでご確認をお願い致します。

- * 11月 5日 《水》・・・「長友ガバナー補佐訪問」～11月のセレモニー
- * 11月12日 《水》・・・(ゲスト卓話=宮崎中央RC弁護士 江島 寛氏)
- * 11月19日 《水》・・・会員卓話 「福井輝文」
- * 11月26日 《水》・・・フォーラム「ロータリー財団について」～チャリティーランチ。

会員卓話

藤堂 孝一 君

久しぶりの卓話です、会社の近況を話したいと思っております。

当社では、9月の末から親子木工教室を開催しております。那珂小学校、佐土原小学校の児童を対象にしていますが、希望があればどこでも受け付けます。

初めての計画でしたが、初日は関係者の宣伝効果もあり5組の親子の申し込みがあり、総勢12名の参加者でした、そろえる材料の段取りに工夫が必要で各親子さんの要求する材料を選定に大変手間取り苦労した、約1時間は何をしているのか自分でも焦ってしまい、皆さんに迷惑をかけたと感じております。

材料がそろってからは、各親子さんたちで削ったり、くぎ打ちしたりペーパーで磨いたりとたいへんにぎやかな4時間でした。5時までには大半が完成して満足そうな顔を拝見して安心したしだいです。現在まで4回ほど実施していますが、大変好評です。今後月2回程度を計画しながら進めていく予定です。

次に、親父に社会保険事務所から年金特別便が送られてきました、4月のころだと思えます。記入されている事項を確認して漏れなどがあれば記入してくださいと書かれていて、当時マスコミなどで質問の仕方が悪いとか親方日の丸的発想の社会保険事務所の考えが取り上げられていたので、なんでもいいから事実を書いておけと思い、昭和17年から20年の終戦まで長崎の三菱造船所に勤務していたことを記入して返送していましたら1ヶ月前に案内が来まして、宮崎社会保険事務所に呼ばれて説明を受けました。重大なミスが見つかりましたということで説明をされるのを黙って聞いていたのですが、このようなミスが全国各地で起きているのを思うといかに社会保険庁のずさんさがひどいものびっくりしている次第です。

この問題の生じる前は、異議を唱えても証拠を持ってこいとか、領収書を提出しろとか、無理なことを要求されて泣き寝入りされた方も多いと思うと腹立たしい気持ちになります。



四つのテスト

「言行はこれに照らしてから」

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

出席状況 第1040回

平成20年9月24日(水)	
会 員 数	24名
(内免除2名)	
出 席 者 数	19名
欠 席 者 数	5名
出 席 率	86.0%
メークアップ	0名
修正出席率	86.0%

MEMO

例会中は携帯電話の電源を切るか
マナーモードにして下さい・・・
